

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	ソーシャルコミュニケーション	学年	1	単位数	前期2、後期2
授業目的	ビジネスマナーの習得				
授業概要	社会人基礎能力の向上、マナーや言葉遣いの習得、就職意識の向上、ビジネス能力検定3級資格取得。				
教科書	ビジネス能力検定3級テキスト	成績評価	出席率・授業態度・復習(50%)、期末テストの得点(50%)。出席は前期後期それぞれ5回欠席、期末テスト未受験で単位認定不可。		
備考	講義形式、期末テストを行う。授業態度で居眠りは減点とする。出席率、授業外での復習、テストの得点の評価による。A(100～85)、B(84～70)、C(69～50)、D(49以下)、E(単位未修得)の5段階評価。				
担当教員	山田 淳一	実務経験	○		
実務内容	ホテル業界でフロントの接客業を約7年間勤務後、総務部人事・財務を約15年間勤務。人事では、採用担当の業務に携わる。				

前 期		後 期	
1	ソーシャルコミュニケーションの必要性	1	仕事への取り組み方
2	キャリアと仕事へのアプローチ	2	ビジネス文書の基本
3	仕事の基本となる8つの意識	3	ビジネス文書の基本
4	仕事の基本となる8つの意識	4	電話応対
5	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	5	統計・データの読み方・まとめ方
6	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	6	情報収集とメディアの活用
7	指示の受け方と報告、連絡・相談	7	会社を取り巻く環境と経済の基本 ビジネス用語の基本
8	話し方と聞き方のポイント	8	B検定 過去問題に取り組む
9	特別授業	9	B検定 過去問題に取り組む
10	話し方と聞き方のポイント	10	B検定 過去問題に取り組む
11	来客対応と訪問の基本マナー	11	B検定 過去問題に取り組む
12	来客対応と訪問の基本マナー	12	租税教室 後期期末試験
13	会社関係でのつき合い	13	就職活動に向けての準備、心構え 企業研究
14	仕事への取り組み方	14	自己分析
15	前期期末試験	15	自己PR
		16	自己PR
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス				
授業名	視覚伝達論	学年	1	単位数 2(前期2)
授業目的	五感による情報伝達の仕組みを考え、表現者として自身の魅力を伝えるためのコミュニケーション能力と自己プロデュース力(マーケティング思考)を養う。			
授業概要	言葉や文章によるバーバルコミュニケーションと、視覚等で伝えるノンバーバルコミュニケーションの違いを理解する。五感を使った表現方法やデザインの基礎を学び、最終的に自分の価値を伝えるコンセプト設計を行う。			
教科書	レジュメ(プリント)	成績評価	出席率80%以上を前提とし、期末試験(50%)および小レポート・課題(50%)にて評価。五感による情報伝達の違いを理解し、自己のコンセプト設計が論理的にできているかを評価基準とする。	
備考	授業時間外に以下の学習を行うことが求められる。【予習】次回のテーマに関連するリサーチや、デザインの課題を出す。【復習】授業で学んだデザインの法則を、自分の日常生活や、視聴したアニメ・映画を振り返って分析し、発見をノートにまとめること。			
担当教員	小泉亮	実務経験	○	
実務内容	ミュージカル・ダンスの舞台制作、振付・演出の実務経験を持つ。その過程において、広報物(フライヤー・チケット)のグラフィックデザインや、舞台美術・衣装デザイン等も取り組んでいる。			

前 期		後 期	
1	自己紹介とコミュニケーションの定義	1	
2	バーバル(言語)とノンバーバル(非言語)の基礎	2	
3	五感 聴覚からくるコミュニケーション	3	
4	五感 嗅覚と味覚からくるコミュニケーション	4	
5	五感 触覚からくるコミュニケーション	5	
6	五感 視覚からくるコミュニケーションと視覚実験	6	
7	広告とデザイン 人の心を動かす仕組み	7	
8	デザインの面白さ 色彩心理(色)とレイアウト(形)	8	
9	プレゼンテーションの仕方	9	
10	マーケティング思考①:コンセプトと顧客	10	
11	コンセプト作成実践①:ターゲット(WHO)を絞り込む	11	
12	コンセプト作成実践②:提供できる価値・強み(WHAT)	12	
13	コンセプト作成実践③:価値を届ける手段・メディア(HOW)	13	
14	1人1人のコンセプト設計	14	
15	講義のまとめと、筆記試験	15	
		16	

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	業界研究Ⅰ	学年	1	単位数	2(後期2)
授業目的	業界の構造を理解する。古典映画や舞台作品の鑑賞・分析を通じ、教養と感性を養う。				
授業概要	声優は「表現者」である。その土台となる多角的な教養を学ぶ。プロダクション研究による業界構造の把握と、舞台・古典映画等の鑑賞・分析を通じ、流行に左右されない豊かな演技の引き出しを構築する。あわせて、プロとして現場に出るための自己プロデュース力と、他者と協働するための人間力(マナー)を身につける。				
教科書	プロダクションパンフレットや映像作品	成績評価	平常点・授業態度(40%)：挨拶、出席率、マナー。課題・レポート(30%)：鑑賞後の分析レポート。筆記試験および最終理解度(30%)：自己プロデュース。		
備考	日常的にアニメ・洋画・舞台を鑑賞し、エンドロールやパンフレットで「どの制作会社・音響監督・事務所が関わっているか」を必ずチェックする癖をつけること。本授業は「プロになるための準備」である。授業態度が悪い(遅刻、無断欠席、提出物の遅れ、挨拶ができない、鑑賞中の私語など)学生は、「現場に出すにはリスクが高い」と判断し、学内評価において厳しく減点する。				
担当教員	小泉亮	実務経験	○		
実務内容	ミュージカル・ダンスの舞台制作、振付・演出の実務経験を持つ。その過程において、広報物(フライヤー・チケット)のグラフィックデザインや、舞台美術・衣装デザイン等も取り組んでいる。				

前 期		後 期	
1		1	声優業界の歴史と発展
2		2	声優・俳優の仕事の範囲
3		3	主なプロダクションと、学校で受けられるオーディション
4		4	クライアント・制作会社・音響会社・プロダクションの立ち位置
5		5	声優業界のビジネスモデルと収益について
6		6	学内オーディションの紹介
7		7	オーディションの内容と自己プロデュースについて
8		8	過去の学内オーディションの記録映像
9		9	外部・劇団の公演鑑賞(劇場で)
10		10	外部・劇団の公演鑑賞(映像で)
11		11	ブロードウェイミュージカルのオーディション映像
12		12	舞台用語・所作・ルールを確認する
13		13	国内ミュージカルのオーディション・制作映像
14		14	国内ミュージカルのオーディション本番配信映像
15		15	声優・舞台用語の筆記試験
16		16	プロとしてのキャリアプラン・自己分析の最終確認
17			

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 声優・スタッフ専攻 シラバス				
授業名	表現探求Ⅰ	学年	1	単位数 4(前期2／後期2)
授業目的	声優・表現者として活動するための「業界知識・マナー」と、表現の土台となる「心身の解放」を習得する。			
授業概要	声優に必要な「知識」と「内側の解放」を両輪で学ぶ演習科目。業界構造や現場ルールを理解する座学と、演劇の手法を用いたワークショップを並行して、豊かな感情表現・言語表現を体得する。			
教科書	動きやすい服装・ジャージ等を用意すること	成績評価	出席率80%以上を前提とし、ワークショップでの課題達成度および実技試験にて評価する。感情の解放と、声優業界の構造・現場ルールを正確に理解し行動できているかを基準とする。	
備考	感情(喜怒哀楽)や感覚について、日常生活の中で自分の心の動きを観察し、言語化しておく。台本を使用する場合、下読み、キャラクター作り、公演の場合は暗記から作品完成までの計画と時間外での稽古・準備を必須とする。			
担当教員	武田有加	実務経験	○	
実務内容	本校の前身(専門学校札幌デザイナー学院)を卒業後、劇団新劇場に所属。現在に至るまで札幌を拠点にコンスタントに舞台出演を続ける現役役者。現場で培われた実践的な演技力と表現手法を指導する。			

前 期		後 期	
1	表現者としての現状とクラスのルール作り	1	前期の振り返りとショートショート公演の説明
2	言葉を正確に伝えるための訓練①	2	ショートショート公演用のグループを作りシアター応用ゲーム①:集団でのリズムと空気感の共有
3	言葉を正確に伝えるための訓練②	3	ショートショート公演用のグループを作りシアター応用ゲーム②:ステータス(上下関係)の身体表現演習
4	キャラクター①:イメージのリストアップ	4	ショートショート公演用の演目の指導
5	キャラクター②:身体を通してアウトプット	5	ショートショート公演用の音響・照明・道具・衣装の指示
6	シアターゲーム①:集中力と瞬発力	6	ショートショート公演用の音響・照明・道具・衣装の確認
7	シアターゲーム②:他人との交流・信頼関係	7	感情の引き出しを増やす(喜怒哀楽のワーク)
8	ミラーリング発展:相手の呼吸と感情を写し取る	8	台本にない感情(サブテキスト)を読む
9	リラクゼーションとニュートラルな身体	9	キャラクター③:戯曲のワンシーンからの読解
10	プロフェッショナルのマナーと現場のルール(声優業界・舞台業界)	10	キャラクター④:台詞の緩急
11	総合演習:既成台本を用いた短編劇創作①読み合わせ	11	朗読表現①:句読点、センテンスの理解
12	総合演習:既成台本を用いた短編劇創作②シーン作る	12	朗読表現②:イメージの共有
13	総合演習:既成台本を用いた短編劇創作③セリフを覚える	13	非言語コミュニケーション(ジェスチャー・表情)
14	総合演習:既成台本を用いた短編劇創作④発表	14	インプロビゼーション(即興)入門:Yes, Andの精神
15	総括・振り返り・課題フィードバック	15	感情解放を用いたショート・エチュード発表
16		16	総括・フィードバック:自分の「表現の癖」と今後の課題
17			

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	発声・滑舌Ⅰ	学年	1	単位数	4(前期2／後期2)
授業目的	声優の基礎となる「腹式呼吸」と「調音(滑舌)」の技術を習得する。				
授業概要	発声と調音のメカニズムを理論的に学び、腹式呼吸や滑舌のコントロール法を探る。自身の発音の癖や、声を出す際の心理的なブロックを客観的に分析・修正し、論理に基づいた明快な表現力を養う。				
教科書	『NHK日本語アクセント新辞典』(NHK出版) 身体を動かすワークがあるため、動きやすい服装で受講すること。	成績評価	出席率80%以上を前提とし、課題提出および前期・後期末の実技試験(アクセント・朗読テスト)にて評価する。腹式呼吸と調音のメカニズムを理解し、正確な滑舌で発声できているかを基準とする。		
備考	【自主練】毎日30分以上、指定した「呼吸法・滑舌ドリル」を行うこと。授業は「練習の成果を確認し修正する場」であるため、日々の積み重ねを評価する。				
担当教員	菅沼文乃	実務経験	○		
実務内容	コミュニケーション講座やコーチングの講師として、多くの個人相談や講座の開催実績を持つ。「感情ワーク」や「潜在意識」へのアプローチを通じ、技術面だけでなく、発声を阻害する心理的な障壁を取り除く。				

前 期		後 期	
1	ガイダンス:呼吸と心・声の密接な関係	1	受容ワーク
2	身体の構造と腹式呼吸の研究	2	受容ワーク 柔軟
3	発声のための体づくり 呼吸 I	3	3ヶ月プロジェクト①:目標を立てる
4	発声のための体づくり 呼吸 II	4	舌の脱力と:言いたいことを飲み込むメンタル癖の解消
5	調音点(舌・唇・顎)の理解と脱力	5	声の方向性:相手に「届ける」意識と自己肯定感
6	コミュニケーション I	6	録音検証:自分の声を客観的に愛するための聴取訓練
7	破裂音・摩擦音の仕組みとトレーニング	7	コミュニケーションⅢ
8	鼻濁音と無声化のルール・実践	8	コミュニケーションⅣ
9	「癖」と心理的障壁(メンタルブロック)	9	集中力の維持と「今、ここ」への意識
10	発声のための体づくり 共鳴	10	ミスをした時の回復ーと思考法
11	発声のための体づくり 発声	11	問題対策:直前のメンタルセットアップ
12	緊張下での呼吸コントロール:あがり症対策	12	3ヶ月プロジェクト②
13	コミュニケーション II	13	3ヶ月プロジェクト③
14	短文ナレーション・自己紹介による発表	14	3ヵ月プロジェクト成果発表(テスト)
15	総括フィードバック	15	3ヵ月プロジェクト振り返り こんにちはワーク
		16	総括と次年度に向けての宣言

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス						
授業名	ナレーションⅠ		学年	1	単位数	4(前期2／後期2)
授業目的	言葉で文章を正確に語るための基礎訓練。アクセント・イントネーションを確認し、標準語をマスターする。					
授業概要	ナレーションの基礎技術(アクセント、イントネーション、プロミネンス、ポーズ)を意識して訓練し、ニュースや天気予報などのストレート・ナレーションを習得する。					
教科書	『NHK日本語アクセント新辞典』(NHK出版) プリント配布物 ストップウォッチ		成績評価	出席率80%以上を前提とし、授業内発表および前期・後期末の実技試験にて評価。アクセント・イントネーションの誤りがなく、ニュース等のストレート・ナレーションを正確に読解・発音できるかを基準とする。		
備考	【予習】事前に配布された原稿のアクセントを辞典で調べ、書き込んだ上で読み込んでくること(週1時間)。【復習】授業での指摘箇所を修正する反復練習を行うこと。					
担当教員	立川佳吾		実務経験	○		
実務内容	札幌を中心に活動(脚本・演出・俳優・ナレーター・講師)。一般社団法人トランク機械シアター代表。人形劇を中心に児童劇、演劇を製作している。劇場での公演のほか、保育園や幼稚園、学校での公演や授業も行っている。CMや自治体PV。テレビ番組のナレーションを担当している。					
前 期			後 期			
1	オリエンテーション ナレーションの基本的な考え方		1	秋休み課題振り返り 基礎力確認		
2	発声・滑舌練習・文法理解 アクセント辞典①(見方・引き方)		2	映像に合わせてナレーション録音		
3	CMナレーション15秒① アクセント辞典②		3	国語の教科書を読む・基礎力向上		
4	CMナレーション15秒② 発声・滑舌練習		4	バラエティ番組① 楽しくなる構成を考える		
5	CMナレーション15秒③ アクセント辞典③		5	バラエティ番組②		
6	CMナレーション15秒④ 表情筋筋トレ		6	バラエティ番組③ ボイスオーバーを通じて、構成を知る		
7	アクセント辞典④(複合名詞) 複合名詞ナレーション		7	ニュース番組① 基礎力再向上・自分で構成して気楽に読めるか		
8	アクセント辞典⑤(数詞) 数詞ナレーション		8	ニュース番組②		
9	アクセント辞典⑥(名詞＋付属語) 名詞＋付属語ナレーション		9	ニュース番組③ カッコリなものに戻って、全てを活かせるか		
10	アクセント辞典⑦(動詞＋付属語) 動詞＋付属語ナレーション		10	CMナレーション①		
11	アクセント辞典⑧(形容詞＋付属語) 形容詞＋付属語ナレーション		11	CMナレーション②(映像合わせ)		
12	録音をして聞いてみる 夏休み課題(ボイスオーバーで構成を知る)		12	CMナレーション③(録音・共有)		
13	夏休み課題提出 鼻濁音強化のナレーション		13	基礎ナレーションテスト①		
14	母音の無声化音のナレーション 前期振り返り		14	プロの構成を実践① ボイスオーバー(男性)		
15	前期まとめ(テスト) 秋休み課題(映像に合わせて読む練習)		15	プロの構成を実践② 自身で構成した読みを披露		
			16	ナレーションテスト② (初見読み)		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります						

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	アフレコ基礎 I	学年	1	単位数	4(前期2／後期2)
授業目的	収録スタジオにおける振る舞い(マナー)と、マイクワーク等の基礎技術を習得する。				
授業概要	スタジオマナー、マイクワーク、台本ハンドリング等、現場環境への適応知識を習得する。機材の特性を見据えたノイズ対策や立ち位置の確保など、収録に向けた基礎行動訓練を行う。				
教科書	アクセント辞典 プリント配布物(原稿・台本)	成績評価	出席率80%以上を前提とし、課題および実技試験にて評価。ノイズ対策等のスタジオマナーを守り、マイク前での適切な立ち位置や台本ハンドリング等の基礎行動ができているかを基準とする。		
備考	本(または雑誌等)を使用し、音を立てずにページをめくる指先の技術を繰り返し練習すること。着用する衣服が摩擦音(衣擦れ)を出さない素材か、靴が足音を立てないか、アクセサリが接触音を出さないか必ず確認すること。収録前に発声・滑舌訓練を行うこと。また、課題になる原稿を読み、アクセントや演技計画を練ること。				
担当教員	武田有加	実務経験	○		
実務内容	本校の前身(専門学校札幌デザイナー学院)を卒業後、劇団新劇場に所属。現在に至るまで札幌を拠点にコンスタントに舞台出演を続ける現役役者。現場で培われた実践的な演技力と表現手法を指導する。				

前 期		後 期	
1	ガイダンス:スタジオマナー、服装チェック	1	マイク前を意識した発声・滑舌訓練②
2	マイク前を意識した発声・滑舌訓練①	2	スタジオ機材の名前と役割
3	ヘッドフォンワーク:返し(自分の声)と指示の聞き方	3	調整室(コントロールルーム)の理解:ミキサーとディレクターの視点
4	業界用語の基礎①(アニメーション制作工程/ディレクション用語等)	4	ノイズ対策:衣擦れ・リップノイズ・アクセサリ音
5	台本の取り扱い:ペーパーノイズを出さないやり方	5	ボイスサンプル①
6	マイクワーク①:基本のマイクとの距離感と軸	6	ボイスサンプル②
7	マイクワーク②:マイクへの入り方・抜け方	7	タイムコードとボード(尺)の見方・合わせ方②
8	マイクワーク③:複数人でのマイクシェア	8	アニメアフレコ①
9	業界用語の基礎②(ト書き/アニメーションにおけるカメラワーク等)	9	アニメアフレコ②
10	タイムコードとボード(尺)の見方・合わせ方①	10	マイクワーク応用①:少数のマイクを使った多人数での入れ替え
11	リップシンク基礎①:口パク(開閉)に合わせる技術	11	技術マイク応用②:アドリブ・ギャ(群衆)収録時の距離感
12	リップシンク基礎②:ブレスのタイミングと尺調整	12	進級審査ボイスドラマ対策
13	応用テスト~本番の流れシミュレーション①(少人数)	13	進級審査ボイスドラマ対策
14	応用テスト~本番の流れシミュレーション②(掛け合い)	14	進級審査ボイスドラマ対策
15	試験:マイクとスタジオ所作の確認	15	進級審査ボイスドラマ録音と、調整
		16	進級審査ボイスドラマ(試験)
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス						
授業名	アフレコ演習Ⅰ		学年	1	単位数	4(前期2／後期2)
授業目的	スタジオマナーの習得。挨拶からダメ出しの受け方、読解や表現方法の習得など、プロとしての現場力を身につける。					
授業概要	現役声優による実践的な指導のもと、マナー、読解、アフレコの実践を行う。台本に書かれていない動きや距離感を音声で表現する技術、および戦闘シーンや群衆シーンなど、現場を想定した特殊な環境での応用力を養う。					
教科書	プリント配布物(原稿・台本)		成績評価	出席率80%以上を前提とし、ディレクション(演出指示)への即応力、課題の精度、および実技試験にて評価。台本の読解から音声表現まで、現場レベルで対応できる基礎力が備わっているかを基準とする。		
備考	予習：【Vチェック】映像を確認し、キャラクターの「ロバクの回数」「話し始めやブレスのタイミング」「身体や視線の動き」などを台本に書き込むこと。【台本チェック】事前に台本を読み、アクセントや言葉の意味を調べる。伝え方や話し方、役に対しての理解を深めること。復習(録音検証)：授業で自分の演技を録音し、プロの演技や他の学生の演技と比較して分析する。					
担当教員	(株)アル・シェア 所属声優		実務経験	○		
実務内容	東京・福岡・札幌に本社を持つ声優事務所。 日本声優事業社協議会 正会員、日本俳優連合 加入俳優在籍、東京商工会議所に加盟。 現役のプロ声優が来校し対面で授業を行う。					

前 期		後 期	
1	オリエンテーションと目標設定	1	架空ゲームオーディション
2	外画のオリエンテーション(台本用語、マイクワーク、スタジオマナーなどについて)	2	架空アニメオーディション
3	外画アテレコのやり方 (タイムの取り方やマイクの使い方など)	3	長文原稿_受け取り手への伝達①
4	声優演技とは (台本解釈・キャラクター理解・空間把握など)	4	長文原稿_受け取り手への伝達②
5	かけあい_肉体的距離感	5	ボイスドラマ(3～5名台本)練習
6	かけあい_心理的距離感	6	ボイスドラマ(3～5名台本)本番_収録
7	掛け合い(2人台本)音声表現の研究	7	戦闘シーン_攻撃、被害者
8	掛け合い(2人台本)音声表現の実践	8	独白、モノローグ
9	ボイスドラマ_練習	9	アニメアフレコ② キャラクターを掴む:アニメ収録2-1
10	ボイスドラマ_本番_収録	10	アニメアフレコ③ 心を動かす(テンション)、モノローグ:アニメ収録2-2
11	ゲームCV_台本読解	11	外画実習①
12	ゲームCV_発表	12	冬休み課題の配布と説明/他
13	アニメアフレコ① リップシンク、距離感を意識する:アニメ収録1-1	13	外画実習②
14	夏休み課題の配布と説明/他	14	冬休み課題のチェック
15	夏休み課題のチェック	15	課題を用いた模擬オーディション
		16	課題シーンの収録と講師陣による総評

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	基礎トレーニング	学年	1	単位数	2(前期1／後期1)
授業目的	声優・表現者の資本である「身体」の構造を捉え、発声に最適な骨格配置(アライメント)と、それを支える体幹を強化する。				
授業概要	骨盤や背骨のアライメントを整え、発声に最適な身体の使い方を身につける。体幹筋力を強化し、緊張によるブレや不要な力みを排除した、声優に必須の「表現力を支える強靱な土台」を作る。				
教科書	動きやすい服装・ジャージを持参すること	成績評価	出席率80%以上を前提とし、課題(柔軟性・筋力の数値向上)および実技審査(姿勢チェック)にて評価。発声に適したニュートラルな骨格配置と、それを支える体幹が備わっているかを基準とする。		
備考	授業で学んだストレッチ・筋トレメニュー(最短20分)を毎日自宅で行い、柔軟性と筋力を維持すること。身体のラインがみえやすい服装を心がけて、身体への意識を高めること。				
担当教員	小泉亮	実務経験	○		
実務内容	ミュージカル・ダンスの舞台制作、振付・演出の実務経験を持つ。ダンサー・俳優としての活動を通じ、解剖学に基づいた身体操作法や、ケガをしないための身体メンテナンス法に精通している。				

前 期		後 期	
1	なぜ声優に身体作りが必要か・現状のボディチェック	1	ニュートラルポジションの再構築:立ち姿の修正
2	【骨盤】ニュートラルポジションの理解と骨盤調整	2	重心移動とアライメント:舞台歩行とポージングの安定
3	【骨盤】ニュートラルポジションの理解と骨盤調整	3	基礎アクションとアライメント:安全な身体の使い方
4	【背骨】脊柱の分節運動と柔軟性	4	リズミック:ステップを使った体力づくり
5	ウォーミングアップ・肺・横隔膜・骨盤底筋の知識	5	リズミック:ウォーク形式で音楽に乗せた動きの反復
6	インナーマッスル①:ドローインと腹圧の安定	6	リズミック:跳躍を使った強度の高いトレーニング
7	インナーマッスル②:発声を支えるコア・スタビリティ	7	ラダートレーニング:脳と身体の調和
8	足裏のアーチと重心バランス:舞台で「立つ」技術	8	ラダートレーニング:リズム感の養成
9	アイソレーション基礎:首・胸・腰の独立可動	9	ラダートレーニング:俊敏性と瞬発力
10	下半身と上半身繋がり	10	ブランク・バリエーションによる耐久力
11	演技中の身体操作:感情と姿勢の関係性	11	フロアムーヴバリエーション(床と身体に無理のない動き)
12	ウォーク形式でのリズム感・フィジカル強化	12	アクロバットバリエーション(片手、片足、跳躍)
13	セルフメンテナンス:怪我予防と疲労回復ストレッチ	13	ウォーミングアップ・進級審査の課題練習
14	ニュートラルポジションと基本動作の確認	14	ウォーミングアップ・進級審査の課題練習
15	実技試験:ニュートラルポジションと基本動作の確認	15	ウォーミングアップ・進級審査の課題練習
		16	進級審査(実技試験)
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	リズム＆ダンス基礎	学年	1	単位数	2(前期1／後期1)
授業目的	音楽の「間」を認識するための正確なリズム感と、身体を自由にコントロールする身体操作能力を養う。				
授業概要	アフレコや舞台上で生きるリズム感と、ダンスの基本を楽しく学んでいく。半期に一度ある学科公演にて、ダンス発表できる身体と作品を作る。				
教科書	動きやすい服装(ジャージ・Tシャツ等)を持参すること。汗をかくため、タオルや着替えの準備も忘れないこと。	成績評価	出席率80%以上を前提とし、実技テストおよび進級審査におけるパフォーマンスにて評価。正確なリズム感(カウントの理解)と、振付通りに身体をコントロールする能力が身についているかを基準とする。		
備考	授業で習ったアイソレーションやステップを、鏡の前で客観視すること。公演・テスト・進級審査の振付を授業外でも練習・反復すること。				
担当教員	小泉亮	実務経験	○		
実務内容	プロダンサー、ミュージカルとしての豊富な舞台経験を持つ。現在は振付家・演出家として、物語性のあるダンスや、演劇と身体表現を融合させた舞台指導を行っている。				

前 期		後 期	
1	「リズム」の重要性和「カウント1」の理解	1	ウォーミングアップ・リズム・アイソレーション・JAZZ
2	ダンス用ウォーミングアップ・筋トレクチャー	2	ウォーミングアップ・リズム・アイソレーション・JAZZ
3	オンビート(表)とオフビート(裏)の体感	3	ウォーミングアップ・リズム・アイソレーション・HIPHOP
4	ダウンとアップ:膝と重心を使ったリズム取り	4	ウォーミングアップ・リズム・アイソレーション・HIPHOP
5	アイソレーション:胸と腰と骨盤の連動	5	ウォーミングアップ・リズム・アイソレーション・コンテ
6	ボディ・ウェーブ:身体をうまくつなげる技術	6	ウォーミングアップ・リズム・アイソレーション・コンテ
7	ウォーミングアップ・夏公演振付・練習	7	ウォーミングアップ・ペアダンス
8	ウォーミングアップ・夏公演振付・練習	8	ウォーミングアップ・バレエバーレッスン
9	ウォーミングアップ・夏公演振付・練習	9	ウォーミングアップ・バレエバーレッスン
10	ウォーミングアップ・夏公演振付・練習	10	ウォーミングアップ・バレエセンターレッスン
11	夏公演本番	11	ウォーミングアップ・バレエセンターレッスン
12	前期テスト用振付	12	ウォーミングアップ・バレエセンターレッスン・ターン
13	前期テスト用振付練習	13	ウォーミングアップ・進級審査用振付・練習
14	前期テスト用振付練習	14	ウォーミングアップ・進級審査用振付・練習
15	実技テスト	15	ウォーミングアップ・進級審査用振付・練習
		16	進級審査(実技試験)

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 声優・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	演技基礎	学年	1	単位数	2(前期1／後期1)
授業目的	作品や役への理解を深め感情表現のレベルを高める。				
授業概要	演技の基礎訓練から始める。エチュード、インプロを用いて発想や力と即応性を磨く。脚本を使った演技の実践を通し、役としてその場に「居る」ための基礎技術を固める。				
教科書	プリント配布物(原稿・台本)	成績評価	出席率80%以上を前提とし、エチュード課題の達成度、中間・期末発表にて評価する。役柄を正確に理解し、その場に「役として存在する」ための基礎的な演技技術が身についているかを基準とする。		
備考	授業で扱う台本以外に、月2冊以上の戯曲や小説を読み、読解力と想像力を養うこと。実践課題では、授業時間外にパートナーと時間を合わせ、動きの確認を行う。				
担当教員	町田誠也	実務経験	○		
実務内容	札幌で活動している小説家・脚本家・演出家・作詞家・俳優。劇団words of hearts代表(作・演出を担当)。2004年小説「うたかた橋」で第29回北海道文学賞佳作を受賞。2016年ラジオドラマ「川の流れを追いかける」にて第2回北のラジオドラマ大賞を受賞。				

前 期		後 期	
1	演技とは「言葉」と「身体」の翻訳作業	1	発声練習 シアターゲーム(五感を使ったワーク)
2	リラクゼーションと集中:言葉を受け入れる器を作る	2	ペアで短編演技を創作する
3	コミュニケーション・ゲーム:相手の言葉を「聞く」	3	ペアで短編演技を創作する 練習
4	コミュニケーション・ゲーム:相手の言葉を「聞く」	4	ペアで短編演技を創作する 練習
5	インプロビゼーション:物語の構造を理解する	5	ペアで短編演技を創作する 発表と振り返り
6	インプロビゼーション:ストーリーを紡ぐ	6	グループワーク テーマに基づいた短編創作 練習
7	エチュード実践①:設定とキャラクターの構築	7	グループワーク テーマに基づいた短編創作 練習
8	エチュード実践②:感情の起承転結を作る	8	グループワーク テーマに基づいた短編創作 発表
9	脚本分析の基礎:作家の意図とト書きの秘密	9	グループワーク テーマに基づいた短編創作 振り返り
10	サブテキスト(行間)を読む:言葉以外の感情を探る	10	長編戯曲のワンシーンを演じる 読み合わせ ト書き 分析・読解
11	キャラクター・プロファイリング	11	長編戯曲のワンシーンを演じる 掛け合い 長いセンテンスのセリフの読み方
12	ショートシーンの立ち稽古①:動機と行動	12	長編戯曲のワンシーンを演じる 立ち稽古
13	ショートシーンの立ち稽古②:他者との距離と葛藤	13	長編戯曲のワンシーンを演じる 立ち稽古
14	ショートシーンの立ち稽古③:言葉に「体温」を乗せる	14	長編戯曲のワンシーンを演じる 立ち稽古
15	実技試験:ペア演技発表と講評(作家視点でのフィードバック)	15	長編戯曲のワンシーンを演じる 発表
		16	発表の振り返り
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	演技実習 I	学年	1	単位数	2(前期1／後期1)
授業目的	作品を作りあげること・演じることの楽しさや大変さを実感し、役者に必要な想像力や協調性を培う。				
授業概要	舞台表現における「空間把握」と「身体表現」の基礎を確立する。公演(ステージ)制作に向けた基礎スキルを学ぶ。ダンスを用い、舞台上の立ち位置、動線を理解する。イベントやショー形式の表現手法を身に付け、表現者としての土台を磨く。				
教科書	動きやすい服装 公演本番に向けた衣装の準備。別途、台本や進行表を配布する	成績評価	出席率80%以上を前提とし、実技発表(パフォーマンス)の完成度とチームワークにて評価する。舞台上での空間把握、動線の理解、および観客を意識した身体表現ができているかを基準とする。		
備考	本科目はグループワークの実習であり、チームワークが重要である。授業時間外にメンバーと集まり、合わせや動きの確認を必ず行うこと。個人のセリフ暗記は前提とする。				
担当教員	小泉亮、武田有加	実務経験	○		
実務内容	小泉:プロダンサー、ミュージカルとしての豊富な舞台経験を持つ。現在は振付家・演出家として、物語性のあるダンスや、演劇と身体表現を融合させた舞台指導を行っている。武田:劇団新劇場に所属。現在に至るまで札幌を拠点にコンスタントに舞台出演を続ける現役役者。現場で培われた実践的な演技力と表現手法を指導する。				

前 期		後 期	
1	舞台の機構と名前 (上手・下手・バミリ・照明エリア)	1	ショートショート公演に向けた 創作 班編成
2	ステージ・プレゼンス:舞台上で「存在」する立ち方	2	ショートショート公演に向けた 創作劇 役割分担
3	ユニゾンとカノン:群舞における呼吸の合わせ方	3	ショートショート公演に向けた 創作劇 練習
4	フォーメーション体験:隊形移動と空間バランス	4	ショートショート公演に向けた 創作劇 練習
5	夏公演に向けた構成・演出プランの理解	5	ショートショート公演に向けた 創作劇 練習
6	夏公演に向けたダンス振付と練習	6	ショートショート公演に向けた 創作劇 練習
7	夏公演に向けたダンス振付と練習	7	ショートショート公演 発表
8	夏公演に向けたダンス振付と練習	8	公演の録画を見返し反省
9	夏公演に向けたダンス振付と練習	9	原稿読み 距離感を掴む
10	夏公演に向けたダンス振付と練習	10	原稿読み 収録～チェック
11	夏公演に向けたダンス振付と練習 動画撮影リハ	11	進級審査の課題発表と班・役割決め
12	夏公演本番 グループパフォーマンスの発表	12	進級審査対策
13	夏公演の振り返り	13	進級審査対策
14	身体メンテナンスペアストレッチ	14	進級審査対策
15	前期総括:1人1人に動きのフィードバック	15	進級審査対策
		16	進級審査(実技試験)

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 声優・スタッフ専攻 シラバス						
授業名	フリートーク I		学年	1	単位数	2(前期1／後期1)
授業目的	ラジオ出演を想定し、コメント対応力、即興力、時間内に話しをまとめる能力を身につける。					
授業概要	1分間トーク、写真描写、掛け合いトークなどの課題に対して、即興で言葉を紡ぐ繰り返し練習を行う。タイム感を養い、マイク前で物怖じしない度胸と、言葉等待つ技術を身につける。後期には授業外で実際にラジオ番組を制作、出演する。					
教科書	ラジオ進行台本、ストップウォッチ		成績評価	出席率・授業態度と実技試験による総合的評価。出席率80%以上を前提とし、授業内パフォーマンスおよび実技試験にて評価。指定された時間(尺)を守り、即興で論理的かつ相手に伝わるトークを構成できているかを基準とする。		
備考	日々の生活でこれまでのこと、気になったニュースをメモする「ネタ帳」を作成し、いつでも話せるようストックする。ラジオ番組やTVのトーク番組を視聴し、コーナー構成やトークの入り方を分析すること。					
担当教員	武田有加		実務経験	○		
実務内容	本校の前身(専門学校札幌デザイナー学院)を卒業後、劇団新劇場に所属。現在に至るまで札幌を拠点にコンスタントに舞台出演を続ける現役役者。現場で培われた実践的な演技力と表現手法を指導する。					
前 期			後 期			
1	ラジオにおける「尺(時間)」の重要性とトークの基礎		1	ラジオ局(現場)でのマナー・ルール		
2	ワード・インプロ:ランダムな単語から瞬時に話を広げる		2	リスナー層を意識した番組構成・打ち合わせ		
3	実況描写①:目の前の静物を描写し続ける		3	お便り紹介①:初見読みの技術とリアクション(共感)		
4	実況描写②:ブラインドトーク		4	お便り紹介②:内容から話題を広げる「受け」のトーク展開		
5	トークにおける距離感を掴むためのワーク		5	ゲストトーク実践①:ホスト役として「掘り下げる」質問力		
6	実況描写③:動作や変化を言語化する		6	ゲストトーク実践②:ゲスト役として「盛り上げる」回答力		
7	タイム・センス:話のオチを「60秒」の着地に合わせる技術		7	複数人トーク:3人以上でのクロストークと発言権の譲り合い		
8	質問への即答力:Q&A形式での反射神経トレーニング		8	コーナー作成と実践①:コーナー内容を簡潔に伝える		
9	声に乗せる相槌・相手の話を引き出すアクション練習		9	コーナー作成と実践②:瞬発的なワードセンス		
10	ゲストトーク①:会話のボールを落とさないキャッチボール		10	悩み相談:音を落とした共感トーク		
11	ゲストトーク②:話題の転換とクロージングの技術		11	模擬番組収録①:オープニング～おたより～曲紹介		
12	番組形式(構成)の理解とキューシート(進行表)の見方		12	模擬番組収録②:ゲストコーナー～エンディング		
13	模擬ブース実習①:オープニングトーク(挨拶～曲紹介まで)		13	模擬生放送:ノンストップでの完パケ記録とトラブル対応		
14	模擬ブース実習②:エンディングトーク(告知～挨拶まで)		14	ペアによる模擬ラジオ番組制作(5分枠)①		
15	実技試験:テーマ即興による1分間フリートーク		15	ペアによる模擬ラジオ番組制作(5分枠)②		
			16	実技試験:ペアによる模擬ラジオ番組発表(5分枠)		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります						

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス						
授業名	ヴォーカルトレーニング基礎		学年	1	単位数	2(前期1／後期1)
授業目的	人前でパフォーマンスすることへの躊躇や恐怖心を取り除き、極度の緊張感のなかでも持てる力を出せるように経験を重ねる。観客を沸かせることで自信と武器を身につけていく。					
授業概要	課題曲を用いた歌唱発表とフィードバックを繰り返し行う。緊張を感じる環境で歌う「場数」を踏むことで、自意識や緊張をコントロールする術を学ぶ。歌以外のMCや振り付け等も含めた総合的なステージングにチャレンジしていく。					
教科書	無し(随時資料配布)		成績評価	出席率80%以上を前提とし、課題および定期テストでの実技(歌唱力・表現力)にて評価する。正しい腹式呼吸での発声、ピッチの安定性、および歌詞の感情表現(役作り)ができているかを基準とする。		
備考	2、3日に一度は自分の限界の高音域を出し、声帯を鍛えるとともに地声と裏声の切り替えポイントをスムーズにして、ミックスボイスも習得していく。					
担当教員	青山浩之		実務経験	○		
実務内容	(株)Fav music代表 モノマネ番組への不定期出演、ビクターエンターテイメントから2曲リリース、クラブシンガー歴30年					
前 期			後 期			
1	授業概要説明と質疑応答		1	課題曲未定(進級審査用)		
2	自由曲前半組フルコーラス		2	課題曲未定(進級審査用)		
3	自由曲後半組フルコーラス		3	自由曲全員1コーラス		
4	課題曲;絆ノ奇跡(進級審査用)		4	課題曲未定(リズム、グルーヴトレーニング用)		
5	課題曲;絆ノ奇跡(進級審査用)		5	課題曲未定(進級審査用)		
6	自由曲全員1コーラス		6	課題曲未定(進級審査用)		
7	課題曲;ワタリドリ、ロマンスの神様(高音トレーニング用)		7	自由曲前半組フルコーラス		
8	課題曲;ワインディングロード(進級審査用)		8	自由曲後半組フルコーラス		
9	課題曲;ワインディングロード(進級審査用)		9	仮想班分けによる進級審査シミュレーション		
10	自由曲全員1コーラス		10	仮想班分けによる進級審査シミュレーション		
11	課題曲;A Whole New World(進級審査用)洋楽グルーヴの研究とノリ方		11	実際の班分けによる進級審査用の選曲とパート分けと練習		
12	課題曲;A Whole New World(進級審査用)洋楽グルーヴの研究とノリ方		12	進級審査練習		
13	自由曲前半組フルコーラス		13	進級審査練習		
14	自由曲前半組フルコーラス		14	自由曲全員1コーラス		
15	自由曲1コーラスでの試験		15	進級審査練習		
			16	進級審査発表		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります						

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	配信コンテンツ実習	学年	1	単位数	2(前期1／後期1)
授業目的	配信者や声優として武器になるセルフプロデュース能力や、ファンを獲得するためのコンテンツ作成、実践的なスキル取得を目的とする。				
授業概要	セルフプロデュースや自己分析をし、配信方法やコンテンツを学びます。				
教科書	授業に必要なプリント等を配布。自分のスマートフォンを持参すること。	成績評価	出席率80%以上を前提とし、授業態度やチーム制作時の貢献度、実技試験の採点による評価。		
備考	指定したジャンルの配信や音声作品を視聴し、表現や構成を学び、理解を深めること。授業時間外で予習や復習をし、配信だけではなく、声優オーディションなど、自身の活動に役立てること。				
担当教員	濱田百花	実務経験	○		
実務内容	高校在籍中より配信活動を開始し、収益化を達成した実績を持つ現役ライバー。教員として学生指導にあたりながら、最新のSNSトレンドやアルゴリズム、ファンマーケティングの実務に精通している。				

前 期		後 期	
1	好きを見つける①:プロフィール帳	1	ショート動画作成①:学校について考えよう
2	好きを見つける②:フリートークについて	2	ショート動画作成②:学校CM作成
3	セルフプロデュース①:配信体験・声分析	3	ショート動画作成③:学校CM録音
4	フリートーク①:人前で話す、質問に答える	4	特別講義③:事務所について
5	フリートーク②:人前で発言する力をつける	5	配信スキル①:コメントを拾ってみよう
6	特別講義①: SNS・自分の売り込み方	6	コンテンツ実習①:言語化すること
7	シチュエーションボイス①:導入	7	配信スキル②:コメントへの対応方法実践
8	フリートーク③:アドリブ	8	セルフプロデュース②:地声じゃない声を安定させる
9	コンテンツ制作①:セリフの作り方	9	コラボ配信①:雑談コラボ配信実践
10	シチュエーションボイス②:ファン目線で考える	10	コラボ配信②:雑談コラボ配信実践
11	コンテンツ制作②:セリフ制作	11	コラボ配信③:雑談コラボ配信実践、発表
12	コンテンツ制作③:セリフ制作	12	特別講義④:収益化について
13	シチュエーションボイス③:自分の声を知ろう	13	コンテンツ実習②:相手に伝える
14	フリートーク④:複数人で会話を広げる	14	シチュエーションボイス④:ギャ
15	特別講義②:配信アプリについて、著作権 前期実技試験	15	セルフプロデュース③:自分の強みを言語化する
		16	セルフプロデュース④:2年生に向けて 後期実技試験(授業で学んだコンテンツの提出)
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 アニソン専攻 シラバス					
授業名	キャラクターヴォーカル表現Ⅰ	学年	1	単位数	4(前期2／後期2)
授業目的	「役(キャラクター)」として歌うための基礎技術とマインドセットを習得する。				
授業概要	「役として歌う」技術を繰り返し特訓する。歌詞を解釈し、キャラクターの設定(性格・音域・口調)を歌声に反映させる感情分析を行う。声色やニュアンスをコントロールし、キャラクターの魅力を歌に乗せる表現力を磨く。				
教科書	プリント配布物(楽譜 歌詞)	成績評価	出席率80%以上を評価の前提条件とする。キャラクター設定の分析レポート(30%)、実技テストでの表現力(70%)で評価する。単なる「歌唱技術の高さ」ではなく、「指定されたキャラクターの性格や感情、口調が、歌声と表情に反映できているか」を単位認定の基準とする。		
備考	【リサーチ・分析】課題曲を歌うキャラクターの背景(年齢、性格、生い立ち、行動原理)を深く掘り下げ、台本化・ノートにまとめること。【自主練】設定したキャラクターの声色やニュアンスを崩さずに、一曲を歌い切る反復練習を授業外で必ず行うこと。				
担当教員	永山有佳里	実務経験	○		
実務内容	シンガー(歴20年) ナレーター(歴14年) MC(歴9年)				
前 期		後 期			
1	自身のアニソンコースに入学し学ぶ姿勢や意欲の確認。自己分析	1	自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得④、ショートショート公演練習		
2	自分の声の特徴の把握、キャラクター設定の分解:性格・年齢・声のトーン。自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の追及①	2	ショートショート公演練習		
3	自分の声の特徴の把握、キャラクター設定の分解:性格・年齢・声のトーン。自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の追及①	3	ショートショート公演練習、歌詞や世界観の理解を深め、感情表現とそれに合う手振り身振りを考える		
4	「JPOP」「アニソン」「キャラソン」のそれぞれの特徴の具体的な違いの理解	4	ショートショート公演練習		
5	課題曲①を用いた曲の理解度を深める。歌詞を朗読することで、感情や曲の世界観を理解し、設定したキャラや背景を踏まえた発声、声の明暗を追及、実践してみる。	5	ショートショート公演練習		
6	課題曲①の設定された世界観やキャラの背景、発声を維持しながら歌う。手振り身振りなどを取り入れることで、より感情を乗せて表現力を高める。	6	ショートショート公演の振り返り、それぞれの現状と今後の課題を考える。自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得と追及⑤□		
7	課題曲①世界観やキャラの背景、発声を維持しながら皆の前で歌う。テストを兼ねた歌唱発表。互いのフィードバック。自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得や追及②	7	自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得⑤□		
8	自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得②	8	設定したキャラや背景を踏まえた発声、声の明暗を維持して歌う。自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得と追及⑥ □		
9	課題曲②を用いて、曲の理解度を深める。歌詞を朗読することで、感情や曲の世界観を理解し、設定したキャラや背景を踏まえた発声、声の明暗を追及、実践してみる。	9	自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得⑥クリスマス合同ライブ練習□		
10	課題曲②の設定された世界観やキャラの背景、発声を維持しながら歌う。手振り身振りなどを取り入れることで、より感情を乗せて表現力を高める。	10	自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得と追及⑦クリスマス合同ライブ練習□		
11	課題曲②世界観やキャラの背景、発声を維持しながら皆の前で歌う。テストを兼ねた歌唱発表。互いのフィードバック。自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得や追及③	11	自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得⑦クリスマス合同ライブ練習□		
12	自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得③、課題曲③プランニングシート作成、ディレクション体験:ペアになり、相手の歌に「演出」をつける。キャラクターを意識した息遣いや語尾、手振り身振り等の演出、明瞭な演出を考える。	12	進級審査練習。歌詞を朗読したり曲の伝えたいことを調べることで、曲のより深く理解して歌う意識をもつ。		
13	課題曲③の実践。アクションと歌唱の連動:動きながらキャラ声を維持して歌う。	13	進級審査練習		
14	課題曲③の発表。次週のミニライブに向けての準備、練習。	14	進級審査練習		
15	テストを兼ねた総合演習(キャラクターやアニソンシンガーとしての演習ミニライブ)とフィードバック 自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の習得④	15	進級審査練習		
		16	進級審査		

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 声優・アニソン・スタッフ専攻 シラバス					
授業名	アーティスト・ヴォーカル基礎	学年	1	単位数	2(前期1／後期1)
授業目的	ボイストレーニング基礎を中心に歌唱力を磨き、表現力を高める。				
授業概要	ボイストレーニングを強化して、歌唱力を確実にアップする。 歌詞、メロディの理解を深め、表現力を高める。				
教科書	プリント配布物(楽譜 歌詞)	成績評価	出席率80%以上を評価の前提条件とする。定期テストでの実技審査(ピッチの正確性、発声の安定感、リズム感)および毎回の課題への取り組み姿勢にて総合的に評価する。「正しい発声フォーム」と「基礎的な歌唱力」が定着しているかを単位認定の絶対基準とする。		
備考	【毎日の自主練】授業で習得した腹式呼吸、リップロール、スケール練習等の基礎トレーニングを毎日欠かさず行うこと(1日30分以上)。【予習】次回の課題曲は、事前にメロディと歌詞を暗記し、譜面への書き込み(ブレス位置やアクセントの確認)を完璧に済ませた状態で授業に臨むこと。				
担当教員	稲田憲子	実務経験	○		
実務内容	ボイスエモーションミュージックラボ札幌 主宰。ボイストレーナー。 他にバンド活動、ソロ活動、多くのアーティストとのコラボレーションを行っており、札幌で活動中のアーティストに楽曲提供やプロデュースなど、制作活動も積極的に取り組んでいる。				

前 期		後 期	
1	初回授業 自己紹介 トレーニング導入 腹式呼吸 共鳴について	1	SSの演目チェック1 それぞれにフィードバック
2	ボイトレ レポートリー発表	2	SSの演目チェック2 それぞれにフィードバック
3	トレーニング 腹式呼吸 共鳴 舌のストレッチ 1コーラスチェック	3	SSの演目チェック3 それぞれにフィードバック
4	トレーニング 共鳴 舌のストレッチ 喉の柔軟性 1コーラスチェック	4	トレーニング エッジボイス 1コーラスチェック
5	トレーニング 1コーラスチェック	5	トレーニング エッジボイス 1コーラスチェック
6	トレーニング フルコーラスチェック	6	トレーニング エッジボイス 1コーラスチェック
7	トレーニング 声域理解 腹式呼吸 喉の柔軟 1コーラスチェック	7	トレーニング エッジボイス フルコーラスチェック
8	トレーニング 声域理解 腹式呼吸 喉の柔軟 1コーラスチェック	8	トレーニング 動画・録音で自分の声をもっと知る
9	トレーニング 声域理解 腹式呼吸 喉の柔軟 1コーラスチェック	9	トレーニング ファルセットボイス 課題曲歌唱
10	トレーニング フルコーラスチェック	10	トレーニング ファルセットボイス 課題曲歌唱
11	トレーニング 高音域拡大 1コーラスチェック	11	トレーニング ファルセットボイス 課題曲歌唱
12	トレーニング 高音域拡大 1コーラスチェック	12	トレーニング ミックスボイス強化トレーニング これまでの課題の弱点を改善する
13	トレーニング 高音域拡大 1コーラスチェック	13	トレーニング ミックスボイス強化トレーニング これまでの課題の弱点を改善する
14	トレーニングテスト	14	トレーニング トレーニングテスト
15	トレーニング 自由曲フルコーラステスト	15	トレーニング 自由曲フルコーラステスト
		16	フルコーラス発表 お互いの頑張ってきたことを称え合う

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 アニソン専攻 シラバス				
授業名	ライブ・パフォーマンス実習 I	学年	1	単位数 2(前期1/後期1)
授業目的	自身の色を構成する好きな音楽や歌をより深く極め、そこから自信の持てる個性を導き出し、それを歌を通して表現できるようにする。			
授業概要	ボイス、ボーカル、MC、パフォーマンス等、音楽ステージ全般トレーニング 自主ライブ等の企画もできるようサポートする。			
教科書	プリント配布物(楽譜 歌詞)	成績評価	出席率80%以上を評価の前提条件とする。定期公演や実践形式のテストにおける「ステージング」および「自己プロデュース力」を評価する。歌唱だけでなく、マイクワーク、視線の配り方、MCを含め、ステージ上で表現者として成立しているかを単位認定の基準とする。	
備考	【企画・準備】ライブ本番に向けて、自身を最も魅力的に見せるセットリストの考案、MCの台本作成、および衣装の準備を授業外で自律的に進めること。【研究】プロのアーティストのライブ映像を複数視聴し、目線、客席の煽り方、ステージ上の動線を研究し、自身のパフォーマンスの引き出しを増やすこと。			
担当教員	永山有佳里	実務経験	○	
実務内容	シンガー(歴20年) ナレーター(歴14年) MC(歴9年)			

前 期		後 期	
1	学ぶ姿勢の大切さ、成長過程を想定した現状のスキルの把握。	1	ショートショート公演 歌 準備
2	周辺機材の使い方、教室の使い方、自主練習の心得、自身のアニソン・JPOPのリサーチや知識の追及。	2	ショートショート公演 歌 準備
3	発声(腹式呼吸、口の開き、声量、音域、ピッチ等、スキル全般の理解、トレーニング。)	3	ショートショート公演 歌 準備
4	発声、自由曲①(ジャンル形態問わず好きな歌を歌う。自身の好きな歌を使用したスキル・技術の集中的追及)	4	ショートショート公演 歌 準備
5	発声、自由曲①(ジャンル形態問わず好きな歌を歌う。自身の好きな歌を使用したスキル・技術の集中的追及)	5	ショートショート公演 歌 準備
6	発声、自由曲①(ジャンル形態問わず好きな歌を歌う。自身の好きな歌を使用したスキル・技術の集中的追及)	6	専攻ライブ選曲
7	発声、自由曲②(日本語中心のスタンダードを習得することによるレパートリーの拡充を意識した選曲、高い技術を要する歌への挑戦とそのスキルの鍛錬)	7	専攻ライブ練習(MC、パフォーマンス、雰囲気作り、感情表現を加えたプロとして観客を歓喜、感動させるスキルの取得)
8	発声、自由曲②(日本語中心のスタンダードを習得することによるレパートリーの拡充を意識した選曲、高い技術を要する歌への挑戦とそのスキルの鍛錬)	8	専攻ライブ練習(MC、パフォーマンス、雰囲気作り、感情表現を加えたプロとして観客を歓喜、感動させるスキルの取得)
9	発声、自由曲②(日本語中心のスタンダードを習得することによるレパートリーの拡充を意識した選曲、高い技術を要する歌への挑戦とそのスキルの鍛錬)	9	1、2年合同ライブに向けたMC、パフォーマンスを含めたライブ形式の練習
10	発声、自由曲③(あまり歌ったことがない曲にも挑戦してみる。レパートリーの拡充を意識した選曲、高い技術を要する歌への挑戦とそのスキルの鍛錬)	10	1、2年合同ライブに向けたMC、パフォーマンスを含めたライブ形式の練習
11	発声、自由曲③(あまり歌ったことがない曲にも挑戦してみる。レパートリーの拡充を意識した選曲、高い技術を要する歌への挑戦とそのスキルの鍛錬)	11	1、2年合同ライブに向けたMC、パフォーマンスを含めたライブ形式の練習
12	発声、自由曲③(あまり歌ったことがない曲にも挑戦してみる。レパートリーの拡充を意識した選曲、高い技術を要する歌への挑戦とそのスキルの鍛錬)	12	進級審査 歌 練習
13	発声、自由曲④(自分の音域を理解し、歌いやすく喜怒哀楽が分かりやすい曲を選曲することで表現力アップの追及を図る)	13	進級審査 歌 練習
14	発声、自由曲④(手振り身振り等を含め、明確な表現力の追及)アニソン1年ミニライブに向けての計画(MC、衣装、パフォーマンス、雰囲気作り、感情表現を加えたプロとして観客を歓喜、感動させるスキルの追及)	14	進級審査 歌 練習
15	発声、自由曲④(リズム、小節、拍、乗り方、グルーブ等のアプローチを意識しながら、歌い表現しようとする)	15	進級審査 歌 練習
		16	進級審査 歌唱発表
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 スタッフ専攻 シラバス					
授業名	スタッフ実習Ⅰ	学年	1	単位数	1(後期1)
授業目的	作品を作りあげること・演じることの楽しさや大変さを実感し、役者に必要な想像力や協調性を培う。				
授業概要	舞台表現における「空間把握」と「身体表現」の基礎を確立する。公演(ステージ)制作に向けた基礎スキルを学ぶ。ダンスを用い、舞台上の立ち位置、動線を理解する。イベントやショー形式の表現手法を身に付け、表現者としての土台を磨く。				
教科書	動きやすい服装 公演本番に向けた衣装の準備。別途、台本や進行表を配布する	成績評価	出席率80%以上を前提とし、実技発表(パフォーマンス)の完成度とチームワークにて評価する。舞台上での空間把握、動線の理解、および観客を意識した身体表現ができているかを基準とする。		
備考	本科目はグループワークの実習であり、チームワークが重要である。授業時間外にメンバーと集まり、合わせや動きの確認を必ず行うこと。個人のセリフ暗記は前提とする。				
担当教員	小泉亮、武田有加	実務経験	○		
実務内容	小泉:プロダンサー、ミュージカルとしての豊富な舞台経験を持つ。現在は振付家・演出家として、物語性のあるダンスや、演劇と身体表現を融合させた舞台指導を行っている。武田:劇団新劇場に所属。現在に至るまで札幌を拠点にコンスタントに舞台出演を続ける現役役者。現場で培われた実践的な演技力と表現手法を指導する。				

前 期		後 期	
1		1	ショートショート公演に向けた 創作 班編成
2		2	ショートショート公演に向けた 創作劇 役割分担
3		3	ショートショート公演に向けた 創作劇 練習
4		4	ショートショート公演に向けた 創作劇 練習
5		5	ショートショート公演に向けた 創作劇 練習
6		6	ショートショート公演に向けた 創作劇 練習
7		7	ショートショート公演 発表
8		8	公演の録画を見返し反省
9		9	原稿読み 距離感を掴む
10		10	原稿読み 収録～チェック
11		11	進級審査の課題発表と班・役割決め
12		12	進級審査対策
13		13	進級審査対策
14		14	進級審査対策
15		15	進級審査対策
		16	進級審査(実技試験)

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります